

第44回美術科教育学会 東京大会 口頭発表スケジュール

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
セッション1	[2101]	[2201]	[2301]	[2401]	[2501]
9:00-9:30	自己肯定感を高め、互いのよさや個性を認め尊重し合う子どもの育成に関する教育実践研究 ―コロナ禍における朝鑑賞及び表現の活動を通して― 青木善治 滋賀大学	情動の媒介性に着目した学習環境デザイン研究Ⅲ 守屋建 東京学芸大学附属小金井小学校	Global Media Arts Educationと映像的触覚知の認知課程から考える映像メディア教育 佐原理 徳島大学	戦後日本の教員養成大学・学部における美術教育学研究成果(第一報)―美術教育学研究の調査・収集・分析― 有田洋子・金子一夫・長瀬達也・赤木里香子・竹内晋平・藤井康子 島根大学・茨城大学・秋田大学・岡山大学・奈良教育大学・大分大学	創造主義を支えるシステムの顕在化 ―構成教育への希求とその背景― 小林貴史 東京造形大学
9:40-10:10	[2102]	[2202]	[2302]	[2402]	[2502]
	知識構成型ジグソー法を用いた美術鑑賞の授業デザイン ―ルドルフ作品の鑑賞実践から― 古田啓一 小田原短期大学名古屋サポートセンター	感性と形象の統合としての「芸術知」の方法論的解明―木を描こう/ヒーロー孔雀明王/リベットの工作の教材例から― 高橋文子 東京未来大学	図工美術教育でプログラミング学習は可能か―身体性に着目して― 井上昌樹・郡司明子・茂木一司 育英短期大学・群馬大学・跡見学園女子大学	創造美育運動の虚像と実像―「創美論争」に関する研究成果をふまえて― 新井哲夫 群馬大学名誉教授	表現・制作活動に対する意識調査に関する一考察―保育士・幼稚園教諭・教員養成課程における「造形演習」の授業から― 前沢知子 東京学芸大学大学院
10:20-10:50	[2103]	[2203]	[2303]	[2403]	[2503]
	「芸術教養美術ゼミ」(鑑賞教育入門(絵を読む! 自由解釈))における受講者の読解傾向 ―ドメニコ・ギランダイオ「羊飼いの礼拝(1485年)」の場合― 岡田匡史 信州大学教育学部	質問紙調査に基づく図画工作科の「造形遊び」における目標設定・評価のための語彙に関する研究 佐藤絵里子 東海大学スチューデントアチーブメントセンター	美術教育における「なつて／みる」ことに関する一考察 ―アートの身体活性化に向けて― 郡司明子 群馬大学	美術教科書1956～2021年度本1学年「見て表す」題材における解説文の検討 山口喜雄 元京都宮大学教育学部	トランスの創造性テストの再考と試行Ⅲ―児童期(9～10歳児)における調査と分析― 大童昭久・王寺直子・栗山裕彦・櫻井晋伍・白石恵里・丁子かおる・樋口和美・前村晃・宮崎祐治 九州ルーテル学院大学・認定こども園あかざかんデンビー園・松葉大学・福岡県立大学・大分県立芸術文化短期大学・和歌山大学・福岡女子短期大学・松葉大学名誉教授・神野こども園
10:50-11:10	休憩(20分)				
セッション2	[2104]	[2204]	[2304]	[2404]	[2504]
11:10-11:40	視覚障害のためのインクルーシブアート教育: 理念と教材開発 茂木一司 跡見学園女子大学	題材の意義を工夫した指導と評価の一体化 ―自画像制作での振り返り記録から主体的に学習に取り組む態度の評価を考察する～ 古川拓明 町田市立小山中学校	芸術教育を核としたSTEAM型学習のキャリア開発の試案 藤井康子・西口宏泰・麻生良太 大分大学教育学部・大分大学研究マネジメント機構・大分大学教育学部	沢野井信夫の「あそび」を活かした美術教育の構想 ―その構想の背景について ― 宇田秀士 奈良教育大学	米国幼児教育(学)者C・トッパルにみる1990年代レッジョ・エミリア・アプローチ受容 ―幼児は「木の端材」の活動から「組み立てること(アッサンブラージュ)」へ挑戦する― 鈴木幹雄 関西福祉大学
11:50-12:20	[2105]	[2205]	[2305]	[2405]	[2505]
	特別支援学校等卒業後の障害のある人・サポートする人のアート活動に関する実態調査 池田史志 広島大学	小学校スタートカリキュラムの題材開発と見取りの在り方の一考察 藤谷貴代 北海道北斗市立大野小学校	アートを主軸とした STEAM 教育-『モナリザの教科書』からの考察- 渡邊晃一 福島大学	関東と満鉄沿線付属地における公学校「作業科」の導入過程 ―『満鉄教育たより』掲載記事を手がかりとして― 齊藤暁子 名古屋大学大学院教育発達科学研究科	レッジョ・エミリア保育実践の創造性教育と日本への導入における問題点と課題(第一報)―芸術性の理解・アドリエリスタの養成・プロジェクト学習を中心として― 高橋 敏之・高橋慧・小田久美子 岡山大学・くらしき作陽大学・ノートルダム清心女子大学
12:20-13:10	昼休憩(40分)				
セッション3	[2106]	[2206]	[2306]	[2406]	[2506]
13:10-13:40	対話型鑑賞ツアーによる参加者のパフォーマンス転回の可能性 ―瀬戸内国際芸術祭を事例として― 山本暁美 東京大学大学院 学際情報学府	水彩絵の具の指導に関するアンケート調査からの一考察―「濁る」「汚い色」に関する教員の自由記述から― 佐々木百花 上越教育学大学院学校教育研究科	アニメーションにおける動きの表現探究ツールの開発 布山タルト 東京藝術大学	戦前の地方美術教育史に関する研究(1)―自由画掲載における地方紙『秋田魁新報』と選者「伊藤弥太」の視点― 長瀬達也 秋田大学大学院教育学研究科	絵本の読み聞かせによる社会情動的スキル育成の可能性についての一考察 橋本忠和 北海道教育大学函館校
13:50-14:20	[2107]	[2207]	[2307]	[2407]	[2507]
	対面とオンラインを組み合わせた美術館教育プログラムの実践 ―山口県立美術館と山口情報芸術センターの連携― 平野智紀・原 泉・岡本麻美 内田洋行教育総合研究所・山口情報芸術センター・山口県立美術館	図画工作・美術科の授業における教師の発話に関する実践研究・Ⅱ: 教師の発話分析を通じた授業研究プログラムの構想 大泉義一・永縄啓太 早稲田大学・横浜国立南太田小学校	美術による異文化間対話: 日米間における児童の美術交流 リョウ・クリスティーン University of North Carolina Wilmington	戦後美術教育史の構想―敗戦と明治維新の類同性を踏まえて― 金子一夫 茨城大学名誉教授	造形活動における子どもの気付きに関する事例研究-幼稚園での造形活動における子どもの相互作用への質的アプローチ- 大西洋史 関西国際大学
14:30-15:00	[2108]	[2208]	予備	[2408]	[2508]
	開かれた美術館の共同生成的アクションリサーチに関する研究 茂木和佳子・松本健義 兵庫教育大学大学院連合学校教育研究科・上越教育大学	高等学校工芸科目における用具の扱いに関する指導内容の特徴―学習指導要領及び教科書調査を通して― 高野雄生 東京都立岸島高等学校		近代日本図画手工教科書データベースの充実と活用に基づいた美術教育史研究の可能性と課題 赤木里香子・角田拓朗・金子一夫・山口健二 岡山大学 学術研究院 教育学域・神奈川県立歴史博物館・茨城大学教育学部	にじみ絵の実践における幼児の描画発達に関する一考察 吉田奈穂子 筑波大学芸術系
15:10-15:40	予備	予備	予備	[2409]	予備
				明治期における博物・理科に関する教育掛図の研究 牧野由理 埼玉県立大学	
15:50-	閉会式				